

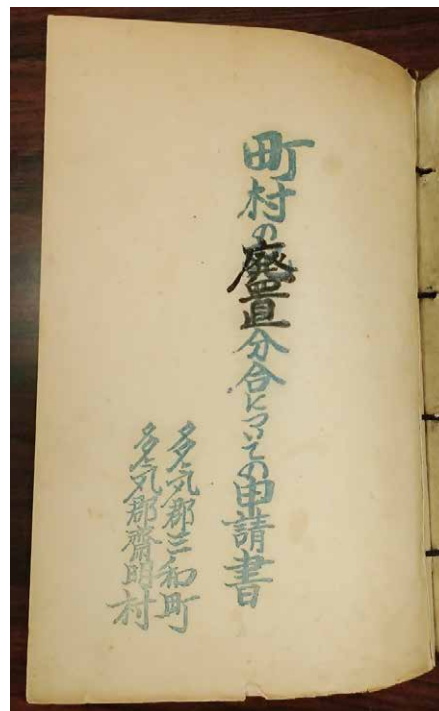
明和町はひょっとしたら^{しんきょうちょう}神郷町だった!?

昭和33年9月3日に、三和町（現在の大淀、上御糸、下御糸地区）と斎明村（現在の斎宮、明星地区）が合併し明和町が誕生しました。

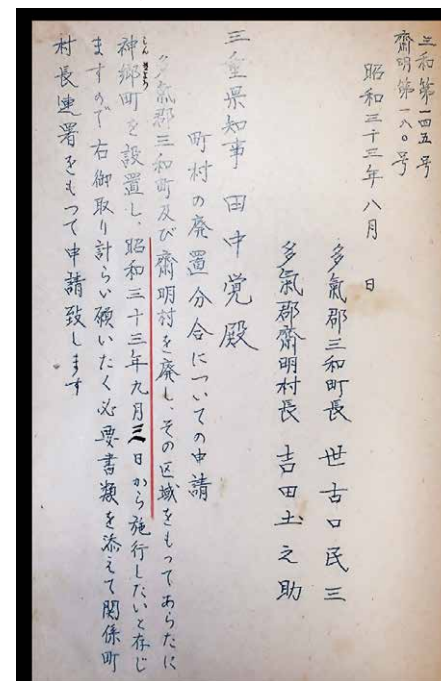
しかし、私たちが知っている「明和町」という町名になるまでに、9月3日の一日だけ「神郷町」という名前だったことがあります。

どうして明和町にならなかったのか、役場に残る資料を確認すると、^{さんわ}三和町と^{さいめい}斎明村のそれぞれの議会で、一つの町になるかどうか議論が重ねられ、三重県が決めた^{がっぺい}合併期限が迫っていたからのようです。そのため、当時の三和町長と斎明村長は、日本遺産にも関わりが深い^{やまとひめのみこと}倭姫命が明和町の地域にやってきて佐々夫江^{ささふえ}行宮や神社を造られたことから、仮に「神郷町」という名前で三重県に報告したようです。

その後、新しい町の名前について投票が行われ、最も得票数が多かった「明和町」が正式な町名となりました。「神郷町」は^{まぼろし}幻の名前となりましたが、昔から明和町が歴史と文化を大切にしてきた地域だということがわかりますね。



神郷町^{しんきょうちょう}を
設置



三和町と斎明村の合併時の関係書類

キーワード：合併、町名、神郷町